

研究課題名	胃癌関連施設共通データベースの構築
研究責任者名	東広島医療センター 外科医長 堀田 龍一
研究期間	承認後から 2029 年 3 月 31 日
対象者	承認後から 2028 年 3 月 31 日の間に、当院を受診した胃癌患者
意義・目的	<p>医学の進歩は、臨床的研究の積み重ねの上に成り立っています。胃癌の研究においては、今まで、関連病院各施設が独自に臨床データを蓄積する上で、研究をすすめてきました。しかしながら、単独施設のみでは症例の解析には限界を認めます。そこで、広島県の関連病院各施設のデータを共用することによって、大きいデータを解析できるようになり、より臨床に反映することが期待できます。その解析の結果、将来の新しい治療や検査、治療方法に応用し、患者さんの治療に役立てていきたいと考えています。そのための将来の研究に備えて共有のデータベースを作成することを目的としています。</p>
方法	<p>胃癌と診断された患者さんの診療録（カルテ）情報を収集します。カルテから使用する内容は治療年、治療開始日、診断名、性別、身長、体重、BMI、ASA-PS、PS、ヘリコバクターピロリの有無、術前合併症、手術既往歴、重複癌、胃癌家族歴、その他の癌家族歴、初診日、診断確定日、術前治療の有無、術前治療の内容、胃癌病巣数、占拠部位、断面区分、組織型分類、肉眼型分類、最大腫瘍径、T 因子、N 因子、M 因子、術前腫瘍マーカー（CEA、CA19-9、CA125、CA72-4）、術前 ESD の有無、ESD の病理結果、手術日、手術時の年齢、術式、リンパ節郭清の程度、再建方法、神経温存、大網切除の有無、網嚢切除の有無、血管走行異常の有無、合併切除臓器の有無、手術時間、出血量、輸血量、セプラフィルムの有無、ドレーンの有無、腸瘻の有無、術中偶発症の有無、退院日、術後在院日数、術後合併症、再手術の有無、術後補助化学療法の有無、術後補助化学療法のレジメ、コース数、手術の病理所見（組織型、腫瘍径、リンパ管侵襲の有無、血管侵襲の有無、深達度、リンパ節転移の個数、pStage、断端への浸潤の有無、HER2 status、薬物・放射線治療の組織学的効果判定 GIST リスク分類、NET WHO 分類）、最終生存確認日、死因、再発の有無、再発確認日、再発後の治療の有無、再発後の治療のレジメなどです。</p> <p>得られたデータを共用化し保存させて頂きます。個人が特定出来る情報は収集しません。</p>
共同研究機関	<p>尾道総合病院、呉医療センター、県立広島病院、JR 広島病院、中国労災病院、中電病院、土谷総合病院、東広島医療センター、広島記念病院、広島市立安佐市民病院、広島総合病院、三次中央病院、吉田総合病院（五十音順）</p> <p>共同研究機関で共有したデータベースに、各施設ごとに登録します。共同研究機関間でのデータの受け渡しはありません。</p>
試料・情報の管理責任者	東広島医療センター 外科医長 堀田 龍一
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。データベースは匿名化したデータをデータベースに登録し、個人情報保護できるように厳重に管理されており、見ることができるのは、医療関係者および研究者のみです。また、プライバシー保護のため、あなたから提供して頂いたデータは、匿名化された形で研究に使用させて頂き</p>

ます。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒739-0041 東広島市西条町寺家 513 T e l : 082-423-2176

東広島医療センター 外科医長 堀田 龍一